

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成24年2月9日 (2012.2.9)

【公開番号】特開2010-166984(P2010-166984A)  
 【公開日】平成22年8月5日 (2010.8.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-031  
 【出願番号】特願2009-10441(P2009-10441)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年12月19日 (2011.12.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

所定の抽選条件の成立に基づいて遊技機の制御状態に関わる抽選処理を実行する抽選手段を備え、該抽選手段によって補助遊技条件が成立すると判定されたことに基づいて補助遊技状態に制御するとともに、該補助遊技状態に起因して第 1 大当たり条件が成立したことに基づいて第 1 大当たり状態に制御し、前記抽選手段によって第 2 大当たり条件が成立すると判定されたことに基づいて第 2 大当たり状態に制御する遊技機において、

遊技球の進入が困難な閉鎖状態から遊技球の進入を許容する開放状態に動作し得る可変入賞装置と、

該可変入賞装置内に進入した遊技球を受け入れ可能な複数種類の受入口と、

前記可変入賞装置への遊技球の入賞に応じて所定数の賞球を払い出す賞球払出手段と、

前記補助遊技条件が成立すると判定されたことに基づいて前記可変入賞装置を開閉制御して遊技者が多量の賞球を獲得困難な前記補助遊技状態に制御する補助遊技制御手段と、

前記補助遊技状態中に前記可変入賞装置内に進入した遊技球が前記複数種類の受入口のうち特定受入口に受け入れられたときに前記第 1 大当たり条件を成立させ、遊技者が多量の賞球を獲得可能な主要遊技を予め決められた第 1 回数実行する前記第 1 大当たり状態に制御する第 1 大当たり制御手段と、

前記第 2 大当たり条件が成立すると判定されたことに基づいて予め決められた第 2 回数のラウンド遊技を実行する前記第 2 大当たり状態に制御する第 2 大当たり制御手段と、を備え、

前記第 2 大当たり制御手段は、

前記第 2 回数のラウンド遊技のうち所定回数の前記ラウンド遊技として、前記補助遊技状態様で前記可変入賞装置を開閉制御することで遊技者が多量の賞球を獲得困難な前記補助遊技状態と同様の疑似補助遊技状態に制御する疑似補助遊技制御手段と、

前記第 2 回数のラウンド遊技のうち前記所定回数の前記ラウンド遊技の終了後に実行される前記ラウンド遊技として、遊技者が多量の賞球を獲得可能な前記主要遊技を所定回数実行する主要遊技制御手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記抽選手段の抽選結果に応じて所定の演出情報を表示可能な演出表示手段を備え、  
前記演出表示手段は、前記補助遊技状態の実行中に所定の昇格期待演出を実行し、前記  
疑似補助遊技状態の制御中に前記昇格期待演出と同様の疑似昇格期待演出を実行すること  
を特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

**【請求項 3】**

前記補助遊技制御手段が前記補助遊技状態に制御したときには前記可変入賞装置内に進  
入した遊技球が前記特定受入口に受け入れられたことに基づいて前記第 1 大当たり状態の  
制御を開始するときに当該第 1 大当たり状態に制御する旨を報知する一方、前記疑似補助  
遊技制御手段が前記疑似補助遊技状態に制御したときには前記可変入賞装置内に進入した  
遊技球の前記特定受入口への受け入れとは無関係に、前記主要遊技を開始するときに前記  
第 1 大当たり状態に制御する旨を疑似報知する報知手段を備えることを特徴とする請求項  
1 又は請求項 2 に記載の遊技機。